

# 令和元年度 第1回萩市立図書館協議会 議事録

令和 元年7月30日(火)

10:00～11:45

会場 萩市立萩図書館

出席者	協議会委員9名	津田和夫委員・大島昌子委員・安達和代委員 柳林優子委員・平田美代子委員・的村るみ委員 阿武知弘委員・杉山芳文委員・岡崎祐介委員
教育長		中村哲夫
事務局		教育委員会事務局 俣賀局長 萩図書館 江山館長・森岡係長・松浦 須佐図書館 豊田館長 明木図書館 片岡館長・河口主任 田万川中学校図書館 板井館長・坂本主査 NPO萩みんなの図書館 澤井理事長・藤山副理事長

## 1. 開会のことば（豊田館長）

## 2. 教育長あいさつ

今期、快く協議会委員を引き受けていただき感謝する。遅くなったが、委嘱状を渡した。萩市立図書館協議会の設置を定めた市の条例では図書館協議会の任期を2年と定めている。委嘱状にもある通り、平成31年4月1日から令和3年3月31日までの任期となる。よろしく願います。本日は今年度1回目の協議会となるので、昨年度の事業報告と今年度の事業計画の審議をいただき。新メンバーとなり1回目でもあるので、会長の選出に加え、最近の図書館事情等の報告をし、共通理解の場としたい。

昨年の読書感想文コンクールの課題図書に「千年の田んぼ」が取り上げられた。萩図書館でも昨年、著者の石井里津子さんによる講演会を開催した。八町八反の田んぼを見てみたいという声があり、希望者と共に見学したい。著者による説明もしてもらえることになった。9月21日土曜日に9時の便で見島に渡る日帰りツアーを考えている。図書館主催ではなく、有志による個人的なツアー。個々で港に集まり、一人ひとりの責任において参加する。希望者は8月末までに江山館長まで連絡をお願いしたい。

本日は忌憚の無いご意見をいただき、萩市の図書館の今後の更なる改善に繋がればと思う。

<委員自己紹介>

<職員自己紹介>

### 3. 図書館協議会会長・副会長の選任について

事務局に一任の声があり、会長は大島委員、副会長は安達委員で承認された。

#### 会長あいさつ

津田委員を顧問と考え、頼りにしている。前期同様、他館への視察も計画したい。皆で図書館について考えながら努力していこう。

#### 副会長あいさつ

会長のサポートに努めるので、皆様は私をサポートしていただきたい。

森岡係長 規定により、議長は会長があたることになっている。議長をお願いする。

### 4. 議事

議長 議事(1)平成30年度事業報告及び令和元年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。

松浦 萩図書館・須佐図書館の事業報告・事業計画について説明

河口主任 明木図書館の事業報告・事業計画について説明

坂本主査 田万川中学校図書館の事業報告・事業計画について説明

議長 意見・質問があれば、お願いします。

委員 図書館毎にいろいろな取り組みをしていて、行って見たいと思った。

議長 須佐図書館に行けたらと思う。

事務室内に各協議会委員宛のポストを設置してもらっている。チラシ等のお知らせを入れておく。意見等もあれば入れてもらえれば。何をしに図書館に行く？を図書館側も利用者側も考えながら、議論していきたい。そういった視点で気持ちを持ちながら。

委員 利用状況で興味があるのは年齢層。年報を見ると田万川中学校図書館は年齢別の数字がないが。

坂本主査 本来、萩市立3館の公立図書館の年報。学校図書館なので載せていない。

委員 図書館システムが萩・須佐・明木とは違うため、年代別の利用統計を出すのは難しい。60～80代の高齢者と中学校が主。30～40代の利用は少ない。

委員 坂の上だが、高齢者の利用が少ないのでは？

委員 高齢者の利用はサークルの人以外は少ない。わざわざ図書館に来られる方は少ない。

議長 対策として考えはあるのか。

板井館長 高齢者は徒歩では難しい。路線バスやぐるっとバスの利用を周知していきたい。本の購入についても工夫が必要。

委員 学校図書館のため児童書も必要だが、高齢者向けの本まで幅広く必要。もう少し予算があればと思う。

### 5. 報告

議長 報告事項について、事務局から説明をお願いします。

江山館長〔説明〕

(1) 最近の図書館事情について

- ・2017年度全国の公立図書館数 3273館 県立は統合等により減少、市町村立は増加
- ・オーテピア高知図書館…複合施設。県立と市立図書館が階を違えてある新しい図書館
- ・職員について、70%が非常勤・臨時職員という実態で、非正規の職員が増えている
- ・指定管理について 全国3215館中、562館が指定管理 17.48% 年々増加
- ・武雄図書館等のTUTAYA図書館の問題点
- ・著作権法の改正について 著者の死後50年→平成30年12月～ 死後70年に変更
- ・映画「ニューヨーク公共図書館」紹介 秋に山口市の情報芸術センターで上映予定。

澤井理事長〔説明〕

(2) 「萩市子ども読書活動推進計画」に基づく学校との連携・取り組みについて

- ・推進計画の中で学校図書館と連携することが示されている。学校に対し、図書館としてできることを出前学習など具体的なメニューを示す。ホームページにも掲載する。むつみ中学校からの依頼があり、ブックトークに行ってきた。これから行う実演を見て、学校関係者に広めていただきたい。中学生になった気持ちで聞いて欲しい。

＜ブックトーク実技（NPO職員 山崎、佐伯）＞

本の貸し出しだけでなく、こういったことをしている。人と本とを結びつける仕事をしている。小さい子どもの時から本に触れることが大切。将来の図書館利用者を育てることに繋がる。長い目で見ていただき、ぜひ利用していただきたい。

議長 事務局から説明がありましたが、意見・質問をお願いします。

委員 ブックトークは、しっかり読み込まれていて、5冊とも読みたくなった。

委員 須佐や田万川にも来て欲しい。中学校図書館で課題図書を買うこともできなくなっている。子どもたちにブックトークをしてもらいたい。問題は、本。課題図書を皆が読みたい読みたいと言っても困る。どのくらい待つことになるのだろうか。

澤井理事長 今回はたまたま、課題図書をという依頼だったが、他のテーマでもできるので利用していただきたい。

議長 順にご意見などいただきたい。

委員 須佐図書館でも返却ができるので、萩図書館に行って借りたい。

委員 ブックトーク、中学生にぜひやって欲しい。ボックスを失念していた。1年分まとめていただいた。場所を確認して帰る。

委員 ブックトークがとても楽しく、いつも読むビジネスの本だけでなく小説にも興味が出た。

委員 ブックトークを初めて聞いた。興味を持てる内容だった。千年の田んぼを読んで、見島に行ってみたい。

委員 初めてで協議会の様子がわからないが、どこかの図書館へ見学に行ってみたい。

議長 順番的にはどこだろうか。市内だけでなく、希望があれば事務室のポストへ。

委員 ブックトーク、子どもだけでなく大人にも良い。機会をいただけて嬉しかった。映画にも参加したい。わからない言葉があった。アニメーション、パズファインダーとはどんなもの？

森岡係長 パズファインダーとは、あるテーマについて調べる際の本にたどり着くための道しるべ。明木図書館で作っていたものは、1枚物の紙の裏表で、テーマについて調べるためのキーワードを考えてみよう→百科事典、辞書などで調べる→蔵書検索する→図書館のどこにあるか といったような調べ方を示し、裏面には明木図書館に所蔵している本の一覧を載せている。協議会委員用ポストに、入れておく。

澤井理事長 アニメーションとは、アニメとは魂。ゲーム感覚で絵本や物語など、その本の世界をクイズなどで体験しながら、紹介するもの。

委員 初めてブックトークを聞いた。すばらしかった。やってみたいという気はあるが、やってもらほうがいい。また、映画はとても興味がある。観てみたい。

委員 武雄の図書館は経済だけを考えたような図書館。図書館としてはどうかと思う。今後も追跡して報告して欲しい。ニューヨーク公共図書館は、日本の図書館と違い、予算が豊富なのだろう。参考になるかどうか。

ブックトーク、結末は読まないとわからないというのは面白い。いつも5冊なのか。多いと思う。もう少し少なくしないとやる人が大変では。

議長 TUTAYA は行ったことがある。勉強になった。「ニューヨーク公共図書館」の映画は気になる。取り入れることがあるかどうかはわからないが、話題になったものは観てみたい。出前講座については、依頼のあったところの希望によってプランを組むのだろう。館長、ご意見があれば。

江山館長 職員の日頃の蓄積の見せどころ。来て欲しいという声が多く上がればと思う。職員が経験することによって職員の力がついてくる。

議長 澤井理事長から何か。

澤井理事長 情報提供だが、今日の朝日新聞の社説欄に図書館のあり方に関する記事が載っていた。ぜひご覧いただきたい。著作権により、本日の新聞は複写できないが、明日複写したものを事務室の協議会委員用ポストに入れておくので見ていただきたい。図書館とは如何にあるべきかといったことが書かれている。出前講座についても願います。

## 6. その他

森岡係長 事務室内に協議会委員のポストを設置している。確認をお願いします。また、時間がある時には、職員と歓談をし、親交を深めていただきたい。

県立図書館で毎年開催される県民のつどいについてもチラシなどが届いたら、入れておく。今回は芥川賞作家、村田喜代子氏の講演がある。ぜひ、参加していただきたい。次回協議会は令和2年3月に開催の予定。

## 7. 閉会のことば（片岡館長）